

公益財団法人京都伝統産業交流センター
令和 2 年度事業計画

1 京都市勤業館常設展示場（京都伝統産業ミュージアム）の展示事業

令和 2 年 3 月 14 日にリニューアルオープンした「京都伝統産業ミュージアム」において、京都市の伝統産業 74 品目を紹介する従来の機能に加えて、展示什器等を一新した各エリアの特性を生かして魅力的な展示を行い、伝統産業に興味を持つ層の裾野の拡大を目指します。

	令和 2 年度目標	平成 30 年度
合計	180,000	169,483
増減比	+6.2%	—

※令和元年度は上半期のみの実績のため基礎数値としない。

(1) エントランス

京都の伝統産業を紹介する映像の上映、館内で開催中の企画展示と連動した工芸品の展示のほか、京都市内の産地及び全国の伝統産業に関する情報を提供します。

(2) 74CRAFTS WALL

京都市の伝統産業 74 品目について、現物を展示するとともに各品目の特徴や歴史等をタッチパネル等で解説します。

(3) MOCAD ギャラリー

関係団体との共催事業及び常設展示との相乗効果が期待できる展示会等を実施します。

(4) 74CRAFTS EXHIBITION

各品目の製造工程の展示や素材・道具の展示、各種プロジェクトの紹介のほか、工芸品に触れて遊べる展示や職人による実演など、より深く学べる展示を行います。

(5) 企画展示室

様々な切り口のテーマに基づく企画展を年間 3～4 回、1 企画 2～3 か月間の会期で開催します。

(6) マテリアライブラリー

伝統産業関係の素材、材料、技術の情報を収集蓄積するため登録事業者を募り、生産者と伝統産業の素材を探す人とのマッチングの場として運営します。また、職人同士、あるいは職人と異業種の方々とが情報交換等を行える機会を設けます。

(7) 特別イベントの開催

館内において企画展関連のイベントや京都市等が開催するイベントとの連動企画を実施するほか、隣接する野外スペースである光庭において食に関するイベントを行うことにより、ミュージアムへの集客を図ります。

2 伝統産業に関する振興及び啓発事業

(1) 伝統工芸品制作体験教室

伝統技法に則り、世界に一つしかない作品を制作する体験事業を事前予約制で実施します。
(友禅染、京こま制作、和ろうそく絵付けなど、約 15 メニューを準備)

(2) 京都伝統産業ミュージアム館内における職人実演

来館者に伝統工芸品への興味関心をより深めていただくため、伝統工芸品の制作工程を間近で見ていただき、職人と直接コミュニケーションをとることができる機会を設けます。

(3) 催事への職人派遣

国際会議、ホテルの催事及び観光フェアなどのイベントに、主催者からの依頼により職人を派遣し、イベント会場で実演販売を行います。

(4) 工房訪問事業

京都を訪れる方により深く伝統産業の魅力を知っていただき、伝統産業製品の購入につなげるため、工房訪問を希望する方と工房とを当財団がマッチングする仕組みである「京都工房コンシェルジュ」を運営します。

(5) 京ものユースコンペティション事業

若手職人の研鑽と露出の機会の創出を目的として、京都市から企画・運営業務を受託して実施します。

3 伝統産業製品の提供事業

現代の人にとって敷居が高くなりがちな伝統産業製品を身近に感じていただけるように、オンラインショップ「京もの専門店みやび」を運営するほか、京都迎賓館や二条城のオリジナルグッズ、会議やイベントで出席者に配られる記念品として伝統産業製品の販売に取り組みます。

【売上額】

(単位：円)

	令和 2 年度目標	令和元年度（見込）	平成 30 年度
オンラインショップ等	8,400,000	9,000,000	7,154,235
実店舗出展	1,500,000	2,800,000	651,080
常設展示・実演販売	3,600,000	1,200,000	3,453,273
記念品（特別注文）等	34,200,000	33,000,000	27,459,551
合計	47,700,000	46,000,000	38,718,139

4 広報活動

(1) SNS 及び口コミサイトの活用

- ・企画展やその関連イベントの告知や開催状況の報告の発信

(2) 観光業界への情報提供

- ・ニュースレターの送信（月 1 回）
- ・観光案内所や宿泊施設等へのパンフレット配架依頼
- ・修学旅行生誘致のためのパンフレット送付
- ・京都駅ビル内観光案内所（京ナビ）のパンフレット棚を活用した工芸品展示

(3) 他施設及び他団体との連携

- ・岡崎コンシェルジュ PR サイトへの情報提供
- ・ホテルでの伝統産業関係イベントにおけるミュージアムの PR
- ・レストランやカフェ等での収蔵品展示によるミュージアムの PR